磐城毎日

社長 大和田與兵衛
發行所 福島縣平市 15丁目12番地
株式會社 磐城毎日新聞社
編集兼印刷 發行人 遠藤孝倫
電話(平)一二一〇番
定價1ヶ月50円 1部2円
【夕刊・月曜休刊】

迎歡稿投

石城地區養蠶の振興を協議

増産に努力を要望さる

去る十七日午前九時から平市片倉製糸工場に石城郡養蠶振興運營協議會並に役員會を開き草野運營協議會長小川村長、片倉工場中村所長の挨拶があつて二十五年度の特別交付金及二十六年度の繭増産の件につき討議した、二十五年度に於ける石城郡下の繭産額は約三萬七千貫で四萬貫の目標に達しなかつたが本年度は桑園の方も二、三割充實して居る關係から目標の四萬貫生産の目的達成は容易と見られる模様で各町村に指導所を設け技術の向上を計り萬全を期する事とした、現在生糸の値段は一俵(十六貫入)二十六萬圓といふ空前の高値を呼び前途も非常に安定して居るし地方事務所伊藤蠶糸課長も養蠶家の努力を要望した、協議會終了後二十五年度に於ける夏秋蠶繭増産の表彰が行われ鈴木康之さん大野村駐在員外十六名が表彰された、なお片倉工場では一年間の需要繭は十萬貫であつて石城郡四萬貫其の他田村郡五ケ村相馬郡七ケ村を合せても辛じて八萬三千貫に過ないので是非繭の増産について農家の方々に一層の努力を仰ぎたいと語つている

外貨獲得にも是非増産を

縣經濟課康木技師談

相馬、双葉地方を巡回し石城地方事務所に立寄つた縣經濟課康木技師は語る

朝鮮動亂以來アメリカに於ける生糸の景氣は非常に強くアメリカでは一ポンド五ドル七〇セント、(邦貨約二千五十圓)と噂され現在の生糸の値段は急激に下る事は考えられず前途は頗る明るい縣財政の立場から言つても煙草、米につぐ重要な財源であるから一層力を入れてほしい特に石城地方は割當四萬貫で少いのであるから目標だけは是非達成してほしいそろそろ春蠶の準備もする折であるからこの際少しでも多く外貨獲得の方からも大切な生糸の産出に注意をはらつて協力してくださる樣おねがひする

濱三郡の養蠶技術研究會原町で開く

春繭の準備を前に控えて濱三郡の養繭技術研究會を福島縣産業試驗所原町支所に十八、十九兩日にわたつて開き技術方面の改善を行ひ縣目標額二百萬貫突破に全力を注ぐ事にした、縣當局から小林明隆繭糸課長外數名が來所する筈で平からは地方事務所伊藤繭糸課長以下三名、石城繭糸技術指導一名はこれに出席のため十八所野口所長以下三名一行六日朝原町に出張した

平市固定資産評價室を設く

職員三名の選任終る

平市における固定資産評價員の選任については既報の通り十七日開催した臨事市議會で柏木諄氏を選任する承認を得たので近く正式發令される事となつた、評價員補助員として北郷喜勝、松本直義の兩氏が十七日附で發令されたが此程市役所階上競輪室の隣りに評價室を設けられ一兩日中に事務を開始する事となつた、なお十七日附で松本正、吉田豊稔の兩氏も書記に任命され松本正氏は保健課吉田氏は教育課勤務を命ぜられた

ミス競輪班の日程を變更

昨報=平競輪のミス競移動宣傳班の日程は都合により變更され茨城縣下の宣傳は二十日、二十一日の兩日の處二十日一日で切り上げる事となり二十日午前八時市役所前を出發當日中に水戸市まで足を延し即日歸平する事となつた

飲食店組合の初總會

十八日午後一時より市公會堂日本間で平市飲食店組合總會を開き金成一組合長、(平會館)の挨拶に次で鈴木平市長から「競輪開始すればお客さんに對しても飲食の店は重要な役割を占めるものであるから平市の發展のため努力して欲しい」と祝辭があり二十六年の役員改選を討議萬場一致留任と決定二十五年の優良組合員金子福藏さん(福壽軒)外十名濱港に無事歸つた

平商工會議所新制定の定款 (1)

第一章 總則

第一條 本商工會議所は地區内における商工業界及び一般市民の公正な輿論を結集しその實現に努め綜合的に商工業の改善發達を促進しあわせて社會一般の福祉の増進に資しもつて我が國經濟の發展に寄與することを目的とする

第二條 本商工會議所は平商工會議所と稱する

第三條 本商工會議所の地區は平市、石城郡、双葉郡久之濱町、廣野町、大久村木戸村の區域とする

第四條 本商工會議所の事務所は平市におく

第五條 本商工會議所はその目的を達する爲事業者團体法の定めるところに從つて左に掲げる事業を行ふ

一、商工會議所としての意見を公表し又は適當な行政廳等に申出ること

二、必要な調査研究を行い統計を作成し資料を收集し若しくはこれを公刊し又は情報を提供し若しくは斡旋すること

三、商工業に關する啓發宣傳を行うこと

四、外國に於ける通關の爲必要がある場合に於て輸出品の原産地證明をすること

六、營業用でない施設を維持し又は運用すること

七、講演又は講習を行うこと

八、見本市又は展示會を開催し依頼に應じて臨時に卽賣すること

九、會員その他の者と外國の事業者との間の事業に關する紛爭を仲裁し又は解決すること

十、貿易の振興に關する事業を行うこと

十一、依頼に應じて事業者又は商品を紹介すること

十二、商工業に關する技能に就いての資格を檢定すること

十三、商工業その他に關して相談に應ずること

十四、商工業に關し相談官公署及び諸團体との連絡斡旋すること

十五、會員相互の連絡及び親睦を圖ること

十六、前各號に掲げるもの、外商工會議所の目的を達成するに必要な事業を行うこと

岩崎の美人殺し

不貞の仕業か

既報=磐崎村松本エツ子(三三)さんの殺人事件は捜査本部で連日の努力を續けて居るがエツ子さんの居た藤原寮と附近地内のチンピラ不良とは常日頃喧嘩し强姦未遂事件などもあつた模樣で或は不良仲間の惡戯かとも見られ聞込捜査をして居る。末だ有力容疑者は現れて居らず指名手配の段階に達して居ない

續く小名濱のイワシ景氣

十八日に三萬貫餘の水揚

五年振りにイワシの大漁で沸き返つた小名濱町では引續き十八日にはスヤ魚業部野崎貞行氏所有船が約八千貫、力印魚業部所有船が七千貫、藤太郎魚業部所有船が六千貫計二萬千貫を漁獲して入港水揚げして港小名濱をにぎわしている、大治丸四第一、第二)德惠丸第一第二、共盛丸(第一、第二)の六アグリ船も急ぎ出漁準備を整え十九日出港したがこのイワシの大漁は當分續くものと見られ値段も一貫目二百圓前後に下落した

投身女救わる

十八日午後五時三十分頃栃木縣那須郡那須村大字高久無職高久シチ(六〇)さんは小名濱港務所前の巖壁より投身自殺をはかつたが附近游だ中の傳馬船に救われた、同女は十四日家を出て小野新町の姪久保木カネさん方に四泊し午後三時頃小名濱に到着日暮を待つて居たもの原因は家庭の不和らしい

小名濱哲丸無事に歸港

小名濱町千町雨澤四郎氏所有の汽帆船哲丸(十五噸)は去る十八日午後五時頃機關の故障のため茨城縣那珂港沖十五哩附近で漂流SOSを發信海上保安の巡視船うづら丸が救助に向い茨城縣川尻沖一キロの地點で發見機關部をとりかえ自力で小名濱港に無事歸つた

十九日 今晩は風弱く曇り後小雨模樣

明日始め南よりの風小雨模樣ですがのち風は北西に變り曇りから回復に向いませう

二十一日北西の風晴の見込

精肉 三三屋
平市田町 電三三三番

磐城名産 鰹節 鹽辛
皆樣の魚店 一丸市屋
平市四丁目 電話二一三番

本場=牛豚肉=自慢
第一線屋 電539
第二線屋 電794
配達迅速

カメラと材料
田中寫眞機店
平市三丁目大通り
電話五七六番一〇三九番

うまい!! 安い!!!
好評の シユウマイ
中華そば
和食=洋食
平会館 三丁目 電六二四

皮膚科 性病科 内科
平市縣社下
矢吹醫院
矢吹大一郎
電話一一九五・一二九五

昭和25年7月6日
（二）第三種郵便物認可 昭和26年（1951）
磐城毎日新聞
1月20日（土曜日）第200號

肢体不自由兒の福音

廿、廿一の兩日相談所開く

（小名濱）

最近全國的に兒童の肢体不自由から文化の恩典に浴し得ないで徒らに世のはかなさを喞つ幾多の不遇に泣く兒童の爲めに厚生省では、肢体不自由兒童協會を設立して不遇の兒童に救濟の溫い手を伸べようとして既に群馬縣前橋地區に於て全國唯一の肢体不自由兒童相談所を開設して、檢診や其手當相談に應ずる相談所がある、これに準じて東北六縣にも前橋地區同樣の相談所の開設を計畫して率先平市を中心に其基本資料の調査に乘り出したが其基本調査に一肌を拔いて協力をなそうと名乘りを揚げた小名濱字定西小名濱醫院々長鈴木伸平氏は町役場を動かして該當兒童を調査した處既に四十五六名に至り更に第四區、第五區（舊玉川）等に手を延ばせば合計六十名位に上るものと算定され其結果を協會に報告したところ、平市を中心として調査が四月と見たものが、平市の基本資料から見て小名濱町が馬鹿には出來ないと遂に町主催の許に肢体不自由兒童相談所の開設となり左記事項により檢診料や相談料共無料として檢診並に相談に應ずる事となつたから遠慮なく出かけて檢診をする樣にお勸めする醫師として來町する醫師先生方は肢体不自由兒童協會理事齋藤一男博士である、博士は日本醫科大學整形外科教授の現職にあり、外四名の醫師を帶同檢診に携はる事となつて居る

肢体不自由兒童小名濱相談所主催小名濱町

期日、自一月廿日至一月廿一日二日間

場所、第一小學校視覺教室に於て

檢診時間、午前九時より午後二時に至る

無料、檢診料、相談料

台所に嬉しい便り

木炭の値段下廻る

昨年十一月下旬まで鰻上りの狀態であつた木炭の價格は十二月に入つてやゝ鈍り本年始めから一日一圓平均の割で下り始めた、石城薪炭協同組合では二十日頃を契機として下る豫想ではあつたが早かつたと言つて居り平薪炭協同販賣組合でもこゝ二三日は降雪の爲山への搬出が思ふにまかせないが二十日頃から急激に安くなると見て居る、舊正を前にしての生産力と消費者の買氣不足から月末まで二十圓乃至三十圓さがる模樣消費者にとつては嬉しい狀態である、現在の平均價格は樽丸二百四十圓前後二百三十圓といふ値段も見られる樣、雜は夫々二百六十圓、二百二十圓程度である

中學校名と學區の協議

小名濱町議教育委員會で

小名濱町議會、教育委員會學區並に校名等について協議をなす事となり校名は第一、第二と云ふ如きありふれたる校名を廢し土地に因む名稱となし、時代にふさわしい校名たらしめようとして居り、學區も第一第二區を新築校に收容されると云う觀念から除去しようとする新らしい方法に出つる計畫もあるので、相當議論も沸騰するものと見られて居る

少年惡戯から

湯本驛前で輪禍

十八日午後三時二十分頃湯本町三函二一六下駄齒入業鯨岡隆義さん長男義勝君（八）は磐崎村白鳥字勝丘一一八鑛泉旅館春木屋の織内信一（三）さんの運轉する小型三輪常用車のバックする際前輪にひかれ驛前古川玩具店前街上で頭部に重傷常磐炭礦湯本病院に入院加療中附近に居合せた人の話によれば義勝君は三輪車の後部にぶら下つて惡戯して誤つたもの、頭部裂傷四ケ所內出血さえなければ生命に異狀なく至治約一週間の見込

夢破れて警察へ

新婚氣取りの前科者

舊ろう平信用組合集金係加藤忠さんが市內南町加藤モータ工商會前で現金九萬余圓と額面四萬圓の小切手を入れたカバンを自轉車の荷物臺から盜まれた事件があつたが警察當局で犯人捜査中の處植田町仁井田土工前科一犯大橋功（三六）の犯行と判明、十六日平市署で檢擧した、大橋はその盜んだ金で、平市南町特殊飲食店喜久の家酌婦某を身請けし世帶道具等を買入れて世帶を持ち涼しい顏で新婚氣取りで居たもの

小名濱通信

小名濱町ではビニロン工場誘致運動に就き是れを郡一圓の運動体に擴大するのが目的達成の上に大なる力となるのであらうと云ふ見解の許に、其手續き中であつたが、愈々其方針が確立したのでビニロン工場誘致同盟會が組織され別紙の通り會長からそれ〳〵役員名簿と共に囑託狀を送付して目的の貫徹に邁進する事となつた

會長　小名濱町長、水野政次郎

副會長　平市助役、阿部治英、石城郡村長好間村長、鈴木栄一郎町村會議長會々長、大河原茂平

衆議院議員、關內正一、高木松吉、松井政吉

參議院議員、星一、石原幹一郎、油井賢太郎、木村守江

縣會議員、蓮沼龍輔、馬目武之助、植田萬次郎、小野義一、田畑金光、星友大郎、木田森之助、渡邊勝治、大井川正巳、平市長、鈴木辰三郎

評議員

小名濱町助役、長瀨國三郎、小川村長、草野寅伊、錦町長、高木武一郎、江名町長、中田佑一郎、鹿島村長、八代義定、泉村長、吉田勝記、磐崎村長、太田原憲太郎、江名町議會議長、遠藤勝馬、鹿島議會長、四家重雄、泉村議會長、花本多忠晃、磐崎村議會長、太平正次、日本水素社長、花野精次郎、小名臨鐵社長、竹川久仁、吳羽化學錦工場長、渡邊泰三、常磐炭礦社長、大越新、東北配電平營業所長、大內善藏、小名濱電業所長、宣田久藏、江名鐵道社長、石原幹一郎、常磐交通社長、野崎滿藏、小名濱埠頭會社長、鈴木秀雄、小名濱町議員、全員、小名濱區長會長、小野作太郎

實行委員

小名濱町議會長、菅原勳一、工場誘致委員長、小野務平、副委員長、山邊茂、委員長、佐藤眞吾、港灣委員長、立花秀吉、外十名、總務委員長、高木嘉一郎、經濟委員長、佐藤政治、教育委員長、坪內清、厚生委員長、小野作太郎

幹事

石城町村會事務局長、橋本勳、小名濱町企畫課長、小名泉安雄、上土木課長、達雄、水郎課長、馬三、中里芳雄道主事、大浦弘四郎

20日より26日まで
ガソリンを呑み火焔の狂壯絶なる豪快實演
話題騷然たる!!!
アメリカ行きを約された
鐵の胃袋魔人颯爽公演
人間火焔放射
同時上映
緋牡丹盜賊
入場料 大人七〇圓 小人四〇圓
世界館
嵐喜多川寛壽郎 澤村千鶴 晶子

20日より 23日まで
斬つたつ張たつのやのざくか喧嘩
男の意地か地獄か生か
一閃光剣一刀流
家一刀流三代目
家一刀流笹川一家
利根の流れの三途川
大利根の夜霧
天保水滸傳
トスヤキ
井花子蘭 寛壽郎嵐
本山郎三禮 川黑郎太彌
野幾子道 聰 村山
平文化

濃厚スのモト（瓶入）
割ばし（各種）
佐々木商店
平市鍛冶町 電（呼）五〇三番

季節の寵兒!!!
文化木炭（厚生大臣推賞）
▼火持よく ▼臭氣なく ▼危險のない ▼經濟的な
木炭の敵？ 加工燃料！
▼コタツ、火鉢用に最適 ▼卸小賣、配達迅速
▼各種燃料取扱
平市正月町六六（電話一二八四番）
有限會社共榮燃料工業所
小名濱町船引場（登記所前）
共榮燃料小名濱出張所
〈製造販賣〉

食ばんとして血迷へる鬪爭を止めて眞に結合への理想活生へ　（2）

と此の句の中に何處に無理があると言ひ得るか蓋し一茶は幼にして兩親に別れて孤獨であつた只だ獨り屋根に鳴いてゐる雀を見た彼は親のない雀よと呼びかけて結合せんことを求めたのだ幼い一茶彼は句にかけては天才だつただが孤獨であつてこそ斯くの如き美しい本心の叫びがある諺口言ふ「旅は道づれ世は情」とこれ亦眞面目な言葉である私は痛切に此の諺を味つて見たことがある。一人旅は淋びしい其れは泣きたい程さびしい三人四人道づれがあつて語り合ふ同じ旅人を見ると羨ましくてたまらないのであるその時の私の心持ちはもう小供でも老人でも氣に向かないやうな面つきの人でもどんな人にでも道づれになり度い心で一ぱいになつてゐる。私は煙草を買ふことを忘れて一人淋びしさに閉されてゐた其の時に隣りにゐた一人の老人はあなたは煙草を喫はないかと尋ねてくれた私は無遠慮だと思つたがつい言葉を掛けられた嬉しさに買ふことを忘れた次第を述べると其の老人は殘り多くもない敷島の袋から五本もつまみ出して差し出した私は一本だけをと言ふと旅は道づれ世は情そう遠慮には及ばないとて私の膝の上に五本の紙卷莨を置いてマッチ迄摺つてくれた私は嬉しかつた涙が出るほど嬉しかつたそれは最う十年前の春のこと梅田から東京への東海道線汽車は名古屋を過ぎて暗の中をゴウゴウと走る頃のことである其の夜は車中で老人と二人は寢もやらず心の底から語り續けた。夜が明けて汽車は東京に着いた中央驛の出口まで私を送つてくれて左樣ならご機嫌やうと帽子を取つた老人のなつかしい其の顏私は今尙目前に接するやうである。今年中は再び其の老人と會ふ事は出來ない、だが私の心の奧には神のやうに佛のやうに永遠に生きて行く旅は道づれ世は情只だ只だ感謝の他はない

互讓なき者も亦あるものを捧げよ

人とは仁なり情なり情を指して人情と言ふ謂く人情とは人間の本心である

（續）